

四国歯学会雑誌投稿の手引

1. 表紙

原稿には例1のごとく表紙をつけ、論文表題、著者名、所属、キーワード(3~5語)および、i.総説、原著論文、学位論文、症例報告の別、ii.本文(文献、図の説明、英文抄録を含む)、図、表の各枚数、iii.別刷希望数(50部単位)、iv.連絡先を記入する。

<例1>

論文表題 斑状歯発生に関する疫学的研究
1. 日本三大河川流域の飲料水中フッ素濃度との関連について

著者名 四国三郎, 板東太郎*, 筑紫二郎**

所属 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 ○○学分野
*筑波歯科大学○○学講座
**久留米歯科大学××学第2講座

キーワード フッ素濃度, 斑状歯, 飲料水

I. 原著論文

II. 原稿総枚数 本文30枚(表題1枚, 本文23枚, 文献2枚, 英文抄録2枚)
図5枚(図1~図3, 図5, 図7, うち図3, 図5は要トレース)
写真3枚(図4, 図6, 図8, うち図8はカラー印刷)
表2枚

III. 別刷希望数 150部

IV. 連絡先 四国三郎

(勤) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 ○○学分野 電話内線 9999

(住) 徳島市吉野川町1丁目2-3 渭水マンション321号 電話 688-8888

2. 表題

表紙の表題とは別に改めて本文に先だって例2のごとく論文表題(副題は行をかえる)、著者名を記載する。所属は脚注となるので、表題・著者名とは離して横線を引き、その下に記載する。

<例2>

斑状歯発生に関する疫学的研究
1. 日本三大河川流域の飲料水中フッ素濃度との関連について

四国三郎, 板東太郎*, 筑紫二郎**

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部○○学分野

*筑波歯科大学○○学講座

**久留米歯科大学××学第2講座

3. 本文

3.1. 和文原稿は、白または淡色無地の判用紙A4を用い、12ポイント相当の文字(40字×20行)で横書きとする。本文下端中央に通しページを入れる。英文を原稿とする場合は、A4判用紙にダブルスペースで印字する。

3.2. 本文は原則として「緒言」、「材料ならびに方法」、「結果」、「考察」、「結論」または「総括」などの

朝永 (1978⁸⁾, 1979⁹)によれば, …

利根川^{5,10-12)}は, …と報告している。

…の成績が報告されている (江崎, 1981¹³⁾; 西塚ら, 1984¹⁴⁾。

4. 文 献

4.1. 文献は国際標準化機構 (ISO), および ISO に準じた科学技術情報流通技術基準 (SIST O2-1997・科学技術庁編) の記載法による。(〈例 6〉)

4.1.1. 雑誌は, 著者名 {欧文の場合は著者の姓 (略さない), 名の頭文字の順。和文の場合は姓だけでなく名も記載する。共著者があれば全員を記載し, 各々の氏名の間はコンマ (,) で区切り, 欧文の場合最後の著者の前に接続詞 (and, und, et) を入れる。} コロン (:) 論文表題 ピリオド (.) 雑誌名 (所定の略名があればそれを用いる。ただし和文雑誌においては, 機関名を含む雑誌名以外は略してはいけない) 巻数 コンマ (,) ページ (最初と最後) (発行年を西暦年号で) の順に書く。

欧文の場合, 省略を意味するピリオド (.) および姓と名の間コンマ (,) は付けない (例 6-1), -2))。

4.1.2. 単行本は, 著者名: 書名. 版数. 発行地, 出版社名, 発行年, 引用ページ. の順に書く (例 6-3))。

4.1.3. 分担執筆の単行本は, 著者名: "論文表題". 書名. 編者名. 版数. 発行地, 出版社名, 発行年, 引用ページ. の順に書く (例 6-4))

4.1.4. 会議報告は, 著者名: 論文表題. 会議報告書名. 編者名. 開催地, 開催年月, 主催機関. 出版地, 出版社名, 発行年, 引用ページ. の順に書く (例 6-5), -6))。

会議の予稿集よりの引用は論文表題の後に (予稿) あるいは (preprint) と明記する。

会議報告の抄録が主催団体または主催団体が関係する通巻の雑誌に掲載されている場合は, 著者名. 論文名 (抄). 会議名, 会議開催地, 会議開催年月. 雑誌名 巻数, ページ (発行年) の順に書き, 抄録であることを明記する (例 6-7))

4.1.5. 論文表題に副表題, 書名に副書名があれば, 欧文ではコロン (:), 和文ではダッシュ (-) で区切る。

4.1.6. なにかの事情により原著論文を閲覧できない場合は, 原著論文についている抄録をそのまま, あるいは一部加工して収録した信用ある抄録集より引用し, 他の原著論文あるいは総説の一部よりの引用は極力さける。

この場合の記載法は, 例 6-8)のごとく, 著者名: 論文名 (抄録の言語と論文の言語が異なる場合, 論文言語名の略). 書名. 巻数, 引用ページ (発行年); 抄録誌名. 巻数, 文献番号 (発行年) の順に記載する。

〈例 6〉

- 1) Lowry O H, Rosebrough N J, Farr A L and Randall R A: Protein measurement with the Folin phenol reagent. J Biol Chem 193, 265-275 (1951)
- 2) 四国三郎, 筑紫二郎, 坂東太郎: 歯牙硬組織の発育?飲料水中のフッ素濃度の影響について. 四国口腔組織学会雑誌 1, 73-79 (1952)
- 3) Robert A D: How to write and publish a scientific paper. Second ed. Philadelphia, ISI press, 1983, 42-47.
- 4) 四国三郎, 筑紫二郎: "象牙質の無機成分". 硬組織の科学. 坂東太郎, 筑紫二郎編. 第1版. 東京, 眉山堂出版, 1963, 53-70.
- 5) 四国三郎, 坂東太郎: 吉野川水系のフッ素濃度と斑状歯発症との関係. 四国歯学会設立記念総会論文集. 四国歯学会編. 徳島, 1982-07, 四国歯学会. 徳島, 四国歯学会, 1983, 87-88.
- 6) Lee M H, Barnes D P: Knowledge based error recovery in industrial robots. Proceedings of the eighth Conference on Artificial Intelligence. Hardy N W ed Tokyo, 1990-08, The Tokyo Academy of Sciences. Tokyo, Science press, 1990, 824-825.
- 7) 四国三郎, 筑紫二郎, 坂東太郎: 器官培養家兎歯胚の増殖に及ぼすフッ素の影響(抄). 第11回四国歯学会総会, 徳島・1986-07・四国歯学会雑誌 12, 654-655 (1986)
- 8) Gil R: Parkinson's disease and cognitive event-related potentials (Fr) (abstract) • Rev Neuro145,

- 4.2. 未刊行資料の場合、掲載が決定しているものについては、書名の次に可能な範囲で巻数（発行年）を記し掲載予定と記載する。欧文においては、論文名のつぎに **to be published in** 書名・巻数（発行年）の順とする。掲載が未定の場合は書名の次に単に投稿中、欧文においては論文名の次に **submitted to** 書名とする。いずれも原稿受け付け後に公表された場合はすみやかに報告して訂正をはかる。未発表のもの、個人的交換資料などによるものは本文中にかっこでくくり、その旨記載するものとする。
- 4.3. 欧文の定期刊行物の略名は、それぞれ所定のものを用いる。不明の場合、**Index Medicus** の **abbreviation list**, **PubMed** および付表 3 などを参照する。和文の定期刊行物においては、略法に一定の規則がないため略名より完全名を復元することが困難であるとの理由より、機関名を含む雑誌以外は略名を用いてはならない。

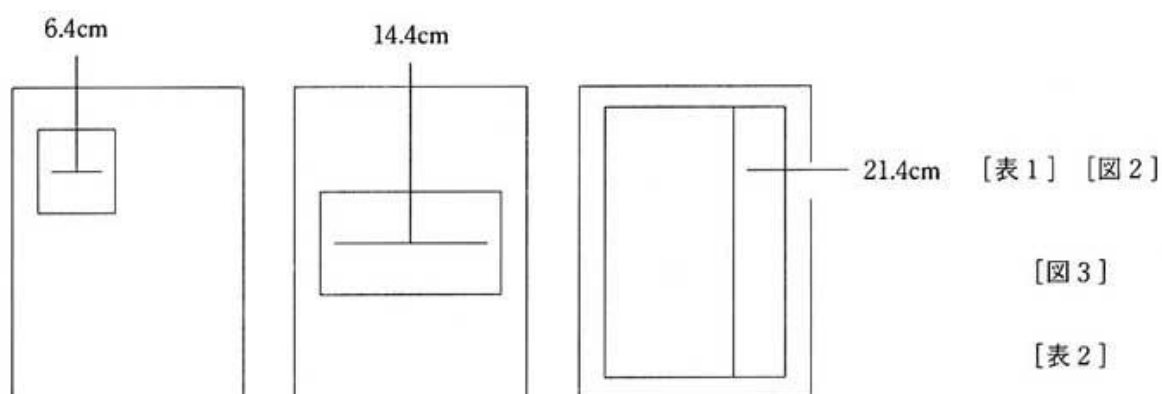
5. 英文抄録

- 5.1. 英文抄録 (**Abstract**) 記載の順序は、表題（前置詞、接続詞・代名詞など以外の単語の始めはキャピタル）、著者名・所属（付表 4 参照）・抄録文（400 語以内）とし、ダブルスペースとする。
- 5.2. 英文抄録の略語の使用も、本文における略語の使用法に準じる。

6. 図（写真）および表

- 6.1. 図（写真）および表はいずれも別紙とし、用紙は A4 判用紙の大きさに統一する。図はパワーポイント (**Mac, Windows** とともに可、容量に制限なし) を用いて作成する。なお図とは活字、線のみでは製版が不可能で写真製版によるものをいい、表とは活字、線により製版できるものを言う。
- 6.2. 図（写真）および表には、実験目的が理解しやすい標題と実験方法の概略をつける（ただし、本文が和文の場合は和文で、英文の場合は英文とする）。表の標題は表の上に記すが、それ以外の説明文は表の下に記す。
また、図の標題および説明文は図の下端中央に併記する。
- 6.3. 表の大きさは刷り上がり 1 ページ以内とし、1 ページにおさまらない表は受け付けない。ただし 2 ページ以上にわたる表でも 1 ページごとの原稿として提出される場合はこの限りではない。また、縮小写真製版を行っても明瞭に印刷が可能となる場合もあるので、編集委員に相談すること。表には表 1, 表 2…のごとく通し番号をつける。
- 6.4. 図及び写真には、表とは別に、図 1・図 2…のごとく通し番号をつける。その際、写真は図として通算する。
- 6.5. 写真は原寸（掲載時の大きさ）あるいは拡大したものを用いる（原寸大の写真よりも拡大した写真の方が、写真製版した場合良い結果が得られる）。
台紙には右肩部に縮小率（1/1・2/3・60%・横の辺を 6.4cm に縮小など）を明記する。本誌における図・写真の掲載面積（1 辺の長さ）に関しては、次図を参照されたい。
各写真は角が直角となるように裁断し、数枚の写真を組合せる場合は、その間隔は均等でほぼ密接した状態とすることが望ましい。
顕微鏡写真などの倍率は実際に刷り上がった時の倍率を説明文に明記する。
- 6.6. 図（写真）および表の本文中の挿入個所には、[表 1]・[図 3]のごとく朱書する。図や表の配列に関して特に希望のある場合には、本文の余白または別紙に例 7のごとく図示する。
- 6.7. 図は上質紙（再生紙を含む）にプリンターで出力したのものを用いる。
- 6.8. 特にカラー印刷を希望する図（写真）は、表紙の原稿枚数の欄に記載するとともに台紙にもその旨明記する。

<例 7>



7. 提出

- 7.1. 原稿はハードコピー1部と電子媒体（USBメモリまたは光ディスク（CD-RあるいはCD-RWに限る））で提出する。（製版に要する時間と経費節減のため）。提出した電子媒体は、印刷後返却する。
- 7.2. ソフトによっては、改行、改頁、半角、上つき文字、下つき文字、外字などの指定や使用により、変換すると無意味な記号や、他の文字になることがあるので、これらの使用は最小限にする。
- 7.3. 電子媒体には使用OS、ソフトとバージョン名、論文表題、著者名を付記し、記録順序も可能な範囲で原稿と一致させること。なお、投稿論文と無関係なファイルや、あるいは推敲前の論文のファイルを含めないこととし、ファイル名は第三者にも解りやすい名前をつける。

8. 校正

- 8.1. 校正は再校まで著者校正とする。この際に文章や内容の訂正、変更は認めない。
- 8.2. 初校の際は、まず全体の配置、特に図（写真）や表の位置・頁の割り付けが本文と対応しているかを十分に検討する。もし、変更が必要であれば、初校の段階で申し出ること。再校の際には、大幅な版組の変更は出来ない。
- 8.3. 誤字、誤植を点検するとともに、特に英文抄録および欧文文献のつづりの分け方に注意する。すなわち、行末につづりの途中がきた場合、つづりの分け方が適切であるか、原稿につけた行末のハイフンが行の途中に残っていないか、あるいは複合語につけたハイフンが削除されていないかを十分に調べる。
- 8.4. 校正の指示は必ず朱書し、校正記号は一般に用いられているものを使用する。校正記号に習熟していない者は、余白部に誰が見てもわかるように訂正の指示を記載すること。
- 8.5. 再校の際は、初校の際の訂正が正しく直されているかを確認する。

9. 投稿料・掲載料・別刷料

- 9.1. 投稿料は、1編につき10,000円とする。
- 9.2. 掲載料は、基本料金として刷り上がり1ページ当たり3,500円とする（平成16年6月現在）。
- 9.3. 別刷料は、有料とする（実費）。但し依頼原稿は50部は無料とする（平成21年6月現在）。
- 9.4. トレース、カラー印刷（実費）、英文校正料（実費）は、著者負担とする。
- 9.5. 学位論文に関しては、投稿時に見計らいで前納し、後日清算する。
- 9.6. 掲載料、別刷料は、経済情勢により改正することがある。

参考

本誌は、1行24字、1ページ47行の2段組である。このため、原稿用紙4枚がほぼ1ページに相当する。

また英文抄録は、1行に80～90字、本文中の欧文活字はほぼ半角活字に相当する。このため、図表の大きさの指定がなされていれば、刷り上がりのページ数が推定できる。

<付表2>

ギリシャ文字は、文字の下に小さくギリシャと朱書きする。 μ 、 α
ギリシャ

SI基本単位	SI単位の名称	SI単位の記号	表記例 [] 内の符号は用いない
物理量	meter (メートル)	m	nm, μ m, mm, cm, mなど [耗, 糖, 米, 軒]
長さ	kilogram (キログラム)	kg	μ g, mg, g, kgなど [γ, 瓦, gr, gm]
質量	second (秒)	s	時, 分, 秒またはhr, min, sec, msecなど [σ]
時間	ampere (アンペア)	A	μ A, mA, A, kAなど
電流	kelvin (ケルビン)	K	K, °Cなど, 0°C=273.15K [F]
温度	mole (モル)	mol	μ mol, mmol, molなど [M, MW]
物質の量	candela (カンデラ)	cd	
光度			

SI補助単位	SI単位の名称	SI単位の記号	1rad=180° ÷ π=57.29575°
物理量	radian (ラジアン)	rad	
平面角	steradian (ステラジアン)	sr	
立体角			

SI誘導単位	SI単位の名称	SI単位の記号	SI単位の定義
物理量	newton (ニュートン)	N	$m \cdot kg \cdot s^{-2}$
力	pascal (パスカル)	Pa	$m^{-1} \cdot kg \cdot s^{-2} = N \cdot m^{-2}$
圧力	joule (ジュール)	J	$m^2 \cdot kg \cdot s^{-2} = N \cdot m = W \cdot s$
エネルギー	watt (ワット)	W	$m^2 \cdot kg \cdot s^{-3} = J \cdot s^{-1}$
仕事率	lumen (ルーメン)	lm	cd · sr
光束	lux (ルクス)	lx	$m^{-2} \cdot cd \cdot sr = m^{-2} \cdot lm$
照度	hertz (ヘルツ)	Hz	s^{-1}
振動数	becquerel (ベクレル)	Bq	s^{-1}
線原放射量	gray (グレイ)	Gy	$m^2 \cdot s^{-2} = J \cdot kg^{-1}$
放射線吸収量	coulomb (クーロン)	C	$s \cdot A$
電荷	volt (ボルト)	V	$m^2 \cdot kg \cdot s^{-3} \cdot A^{-1} = W \cdot A^{-1}$
電位差	ohm (オーム)	Ω	$m^2 \cdot kg \cdot s^{-3} \cdot A^{-2} = V \cdot A^{-1}$
電気抵抗	siemens (ジーメンズ)	S	$m^{-2} \cdot kg^{-1} \cdot s^3 \cdot A^2 = A \cdot V^{-1} = \Omega^{-1}$
電導度	farad (ファラッド)	F	$m^{-2} \cdot kg^{-1} \cdot s^4 \cdot A^2 = A \cdot s \cdot V^{-1}$
電気容量	weber (ウェーバー)	Wb	$m^2 \cdot kg \cdot s^{-2} \cdot A^{-1} = V \cdot s$
磁束	henry (ヘンリー)	H	$m^2 \cdot kg \cdot s^{-2} \cdot A^{-2} = V \cdot A^{-1}$
インダクタンス	tesla (テスラ)	T	$kg \cdot s^{-2} \cdot A^{-1} = Wb \cdot m^{-2}$
磁束密度			

その他の誘導単位	単位の名称	単位の記号	単位の定義	関連表記法 [] 内の符号は用いない
物理量	square meter	m ²	m ²	mm ² , cm ² , m ² , a=m ² ×10 ² ha=a×10 ² など [qm, qcm]
面積	cubic meter	m ³	m ³	m ³ , l, ml, dl, またはcc
容積	liter	l	10 ⁻³ m ³	[耗, 立]
セルシウス温度	degree Celsius	°C	0°C=273.15K	[F, 摂氏]
線量当量	sievert	Sv	$m^2 \cdot s^{-2} = J \cdot kg^{-1}$	
モル濃度	molarity	mol · m ⁻³	mol · m ⁻³	mol · l ⁻¹

SI位取り接頭語	名称	記号	大きさ	名称	記号	大きさ	接頭語の付け方 [] 内の符号は用いない
エクサ (exa)	E	10 ¹⁸	デシ (deci)	d	10 ¹	接頭語と単位の間はスペースをあけない	
ペタ (peta)	P	10 ¹⁵	センチ (centi)	c	10 ²	例 nm [nm], μ mol [μ mol]	
テラ (tera)	T	10 ¹²	ミリ (milli)	m	10 ³	2つ以上の接頭語を並べてはいけない	
ギガ (giga)	G	10 ⁹	マイクロ (micro)	μ	10 ⁶	例 nmol [nmol],	
メガ (mega)	M	10 ⁶	ナノ (nano)	n	10 ⁹	但し, 質量の単位はすでにk (キロ)	
キロ (kilo)	K	10 ³	ピコ (pico)	p	10 ¹²	を含んでいるので, それに接頭語をつけ	
ヘクト (hecto)	h	10 ²	フェムト (femto)	f	10 ¹⁵	ないで, g (グラム) で表示する	
デカ (deca)	da	10 ¹	アット (atto)	a	10 ¹⁸	例 mg [μ kg]	

<付表3> List of Journal Title Word Abbreviations

Abstracts	Abstr.	Academy	Acad.	Acta	No Abbrev.
Advances	Adv.	Agricultural	Agric.	American	Am.
Anales	An.	Analitical	Anal.	Anatomical	Anat.
Annalen	Ann.	Annales	Ann.	Annals	Ann.

Annual	Annu.	Anthropological	Anthropol.	Antibiotic	Antibiot.
Antimicrobial	Antimicrob.	Applied	Appl.	Arbeiten	Arb.
Archiv	Arch.	Archives	Arch.	Archivio	Arch.
Association	Assoc.	Astronomical	Astron.	Atomic	At.
Bacteriological	Bacteriol.	Bacteriology	Bacteriol.	Bakteriologie	Bacteriol.
Berichte	Ber.	Biochemical	Biochem.	Biological	Biol.
Biologie	Biol.	Botanical	Bot.	Botanisches	Bot.
Botany	Bot.	British	Br.	Bulletin	Bull.
Bureau	Bur.	Cell	No Abbrev.	Cellular	Cell.
Central	Cent.	Chemical	Chem.	Chemie	Chem.
Chemistry	Chem.	Chemotherapy	Chemother.	Chimie	Chim.
Clinical	Clin.	Commonwealth	Commw.	Comptes	C.
Conference	Conf.	Contributions	Contrib.	Current	Curr.
Dairy	No Abbrev.	Dental	Dent.	Developmental	Dev.
Diseases	Dis.	Drug	No Abbrev.	Ecology	Ecol.
Economics	Econ.	Edition	Ed.	Electric	Electr.
Electrical	Electr.	Engineering	Eng.	Entomologia	Entomol.
Environmental	Environ.	Ergebnisse	Ergeb.	Ethnology	Ethnol.
European	Eur.	Excerpta	No Abbrev.	Experimental	Exp.
Fauna	No Abbrev.	Federal	Fed.	Federation	Fed.
Fish	No Abbrev.	Fisheries	Fish.	Flora	No Abbrev.
Folia	No Abbrev.	Food	No Abbrev.	Forest	For.
Forschung	Forsch.	Fortschritte	Fortschr.	Gazette	Gaz.
General	Gen.	Genetics	Genet.	Geographical	Geogr.
Geological	Geol.	Geologische	Geol.	Gesellschaft	Ges.
Helvetica	Herv.	History	Hist.	Immunity	Immun.
Immunology	Immunol.	Industrial	Ind.	Institute	Inst.
International	Int.	Jahrbuch	Jahrb.	Jahresberchte	Jahresber.
Japan, Japanese	Jpn.	Journal	J.	Laboratory	Lab.
Magazine	Mag.	Material	Matr.	Mathematics	Math.
Mechanical	Mech.	Medical	Med.	Medicine	Med.
Methods	No Abbrev.	Microbiological	Microbiol.	Microbiology	Microbiol.
Monographs	Monogr.	Monthly	Mon.	Morphology	Morphol.
National	Natl.	Natural, Nature	Nat.	Neurology	Neurol.
Nuclear	Nucl.	Nutrition	Nutr.	Obstetrical	Obstet.
Official	Off.	Organic	Org.	Paleontology	Paleontol.
Pathology	Pathol.	Pharmacology	Pharmacol.	Philosophical	Philos.
Physical	Phys.	Physik	Phys.	Physiology	Physiol.
Pollution	Pollut.	Proceedings	Proc.	Psychological	Psychol.
Publications	Publ.	Quarterly	Q.	Rendus	R.
Report	Rep.	Research	Res.	Review	Rev.
Revue, Revista	Rev.	Rivista	Riv.	Royal	R.
Science	Sci.	Scientific	Sci.	Series	Ser.
Service	Serv.	Society	Soc.	Special	Spec.
Station	Stn.	Studies	Stud.	Surgery	Surg.
Survey	Surv.	Symposia	Symp.	Symposium	Symp.
Systematic	Syst.	Technical	Tech.	Technology	Technol.
Therapeutics	Ther.	Transactions	Trans.	Tropical	Trop.
United States	U.S.	University	Univ.	Untersuchung	Unters.
Urological	Urol.	Verhandlungen	Verh.	Veterinary	Vet.
Virology	Virol.	Vitamin	Vitam.	Wissenschaft	Wiss.
Zeitschrift	Z.	Zentralblatt	Zentralbl.	Zoology	Zool.